

整理番号 S-26

出 展 織物欠点解析事例集

欠 点 名 よこ斑(異常張力等)

品 名 スパン楊柳クレープ

試料形態 織物

組 織 平

糸 使 い

たて糸:混紡糸 { ポリエステル 65% 40^s(綿番手)
麻 35%

よこ糸:混紡糸 { ポリエステル 65% 40^s(綿番手)
麻 35%

欠点発生状況

正常部分のシボ立ちが大きく欠点部分は小さい。欠点部分の色は淡く見える。欠点部分と正常部分の境に口合せした跡があるのでシャトルを交換してから生じたものである。

試料写真



欠
点
↑
↓
正
常

試験結果

(1)混用率

(2)織密度

(3)強伸度測定

◦混 紡 率

	ポリエステル	麻
正常部分	64.3 %	35.7 %
欠点部分	64.0 %	36.0 %

◦緯 密 度

正常部分	22 本/cm
欠点部分	22 本/cm

◦強 伸 度

正 常 部 分		欠 点 部 分	
強 度(g)	伸 度(%)	強 度(g)	伸 度(%)
300	20.0	193	20.5
264	19.0	193	21.4
297	21.3	256	22.0
342	21.8	179	21.8
327	18.5	182	19.0
369	19.7	299	27.4
230	17.2	264	23.7
301	19.0	240	25.1
327	22.3	220	23.0
224	12.0		

(4)マイクロスコープ観察

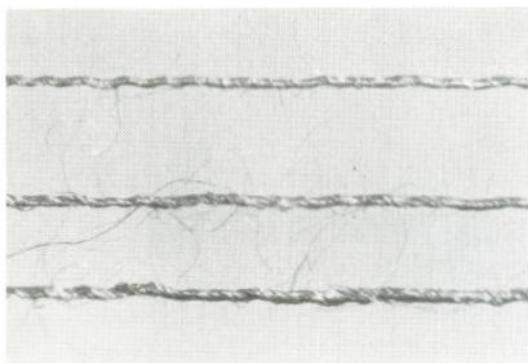


写真 1. 緯糸正常糸

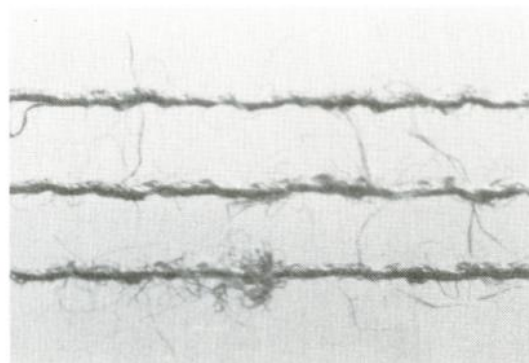


写真 2. 緯糸欠点糸

所 見

織物密度や混紡率においては差異は認められないが、強伸度測定の結果から、よこ糸が部分的に弱っていることが推察される。また顕微鏡写真からは欠点部分のよこ糸に毛羽立ちが多く観察される。

従ってこの欠点は準備工程(特に管巻工程)におけるガイドの疵、あるいは製織中、シャトルの目ガラス疵やシャトル側面の疵による異常張力により糸がしごかれて毛羽立ちを生じ、部分的な織度斑を生じてできた欠点と考えられる。